

## 指定管理者の期末モニタリング

施設名	宮代町学童保育所 かしの木・いちょうの木・ふじ児童クラブ	年度	令和3年度
指定管理者	株式会社アンフィニ	担当課	子育て支援課
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日	期別	第1期
施設の目的	両親等の就労等により保育が必要な児童に対し、保護者に代わり保育することにより、児童の健全な育成を図ることを目的とする。		
業務の内容	(1) 放課後児童健全育成事業の実施に関すること。 (2) 施設及び設備の維持管理に関すること。		

<b>総合的な評価</b>	
【総合評価】	A優良 0 B適正 13 C改善 0
今年度も昨年度に引き続き、コロナ禍における保育となったが、感染症対策の徹底、意見箱設置やアンケートの実施、児童及び保護者の理解に基づく保育の実践等、入所児童及び保護者に対し、安定的な保育サービスの提供が行われている。	
【評価事項】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土曜保育時間の延長等、利用児童及び保護者のニーズに応える形でのサービスの拡充がなされている。</li> <li>・チューター管理職の配置により、指導員のモチベーション維持、雇用継続を図ることで、入所児童及び保護者に対し、安定・継続的な保育のサービスの提供が行われている。</li> <li>・統括管理者の配置により各小学校との連絡調整、情報共有が密に図られるようになったことで、学童保育の円滑な運営に大きく寄与している。</li> <li>・子育て支援課所管の「こどもの居場所づくり事業」において、プレーアドバイザーの派遣による事業協力を行うなど、地域貢献活動に積極的に取り組んでいることも評価できる。</li> </ul>
【改善事項】	担当課、指定管理者および各児童クラブとの情報共有及び共通認識の徹底を図り、より安定的な保育運営を期待する。

<b>1. 施設の管理運営・事業</b>	評価	B 適正
<p>昨年と同様に、新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントや研修の中止はあったが、実施可能なものに関しては感染症対策をしっかりと行い、実施している。また、各施設の環境に合わせて感染症対策を取り決め、実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プレーアドバイザーによるサッカー教室(年間実施回数) かしの木児童クラブ 15回、いちょうの木児童クラブ 14回、ふじ児童クラブ 18回</li> <li>・ダンス教室(年間実施回数) かしの木児童クラブ 10回、いちょうの木児童クラブ 10回、ふじ児童クラブ 9回</li> <li>・手話教室(年間実施回数) かしの木児童クラブ 2回、 いちょうの木児童クラブ 1回、ふじ児童クラブ 1回</li> <li>・保育コンサルタントによる研修(実施内容) かしの木児童クラブ(共感声かけワークショップ・ペアレントトレーニング応用) いちょうの木児童クラブ(ペアレントトレーニング応用) ふじ児童クラブ(ペアレントトレーニング応用)</li> <li>・その他イベント 日本工業大学教授による理科実験教室、元校長(地域住民)によるマジックショー</li> </ul>		

<b>2. 利用者の公平確保</b>	評価	B 適正
<ul style="list-style-type: none"> <li>・サッカー教室やイベントを開催するにあたって、多くの児童が参加できるように実施曜日が偏らないように配慮しながら実施している。また、事前に開催日時を各児童クラブに掲載して保護者や児童に周知している。</li> <li>・加配が必要な児童が利用する場合には、職員の増員配置及び職員研修を徹底することにより、児童クラブを公平に利用できる環境を整えている。</li> </ul>		

<b>3. 職員の配置、研修等</b>	評価	B 適正
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は統括管理者、チューターを配置し、所長・副所長・支援員が協力しながら組織的に学童運営を行っている。特にチューター管理職を置いたことにより、職員間の悩みや不安を受け止め、新規職員からの声が届きやすくなったため定着率が3学童共に高くなった。</li> <li>・統括管理者の配置により各小学校との連絡調整、情報共有が密に図られるようになったことで、学童保育の円滑な運営に大きく寄与している。</li> <li>・昨年度に続き、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、予定した規模での研修やイベントの開催ができないところもあったが、新たに宮代特別支援学校コーディネーターを指導者とした多様な児童への支援と手立ての研修や保育コンサルタント等による各種研修を会社内で工夫しながら実施している。</li> </ul>		
<b>4. 施設の維持管理業務(清掃、植栽管理など)及び保守点検</b>	評価	B 適正
各児童クラブで、日常の清掃や植栽管理等を行うとともに、施設管理については常時点検を実施し、児童が安心・安全かつ快適に生活を送れるよう環境整備と維持に努めている。		
<b>5. 施設の修繕</b>	評価	B 適正
ふじ児童クラブにおける落雷の影響によるエアコン修理、かしの木児童クラブにおけるトイレ壁面修繕等、安全面に配慮しながら必要に応じて町に報告し、適切に対応している。		
<b>6. 備品管理</b>	評価	B 適正
各児童クラブにおいて備品管理台帳(I種、II種、III種)により管理し、使用年数や状況に応じて修繕や入れ替えを行い長期的かつ安全に使用できるようにしている。		
<b>7. 安全・危機管理</b>	評価	B 適正
各児童クラブに安全対策マニュアルを配備し、指揮命令系統を明確にするとともに、各学童ごとの危険個所の把握に努めるなど、危機管理意識の高揚を図っている。さらに、避難訓練を定期的実施し、有事の際迅速に行動できるよう取り組んでいる。		
<b>8. 個人情報の管理</b>	評価	B 適正
<ul style="list-style-type: none"> <li>・名簿や児童の個人情報が記載されている資料等に関しては、鍵付きのロッカー等で保管をしている。また、各職員に対して、個人情報及びプライバシーに関する研修を行うことで、個人情報保護に対する意識を高め、施設全体の個人情報管理体制を整備している。</li> <li>・パソコンは鍵のかかる部屋に常時配置、パソコンにロックをかけて使用している。</li> </ul>		
<b>9. 利用者ニーズの把握・反映</b>	評価	B 適正
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご意見BOXの設置や各種お問合せ先を掲示して、利用者の意見を広く求める環境作りを行っている。また利用者アンケートを実施して現状を把握し、町と情報を共有している。さらに、支社職員が児童クラブを巡回して直接ニーズの把握も行っている。新型コロナウイルスの流行により、反映に難しい問題もあったが、土曜保育の拡充等、可能な限り対応している。</li> <li>・ホームページにお問い合わせホームも設置。現段階ではホームページからの問い合わせはないが、対応できるようにしている。</li> </ul>		
<b>10. 自主事業の実施</b>	評価	
該当事業なし		
<b>11. 経費節減</b>	評価	B 適正
備品や消耗品など、管理台帳で適切に管理し、予防保全や傷む前の修繕・交換を行い、修繕コストの削減に努めている。		
<b>12. 環境への配慮</b>	評価	B 適正
節電やゴミの削減、3R(リデュース・リユース・リサイクル)活動を積極的に行っている。また、ICTシステムを活用し、実現可能なものについてペーパーレス化を図っている。		
<b>13. 利用者への情報提供</b>	評価	B 適正
キッズリー(入退所管理等システム)を使用し、運営者および各児童クラブから適宜必要な情報発信を行っている。なお、発信の際は、児童クラブ間での内容相違、伝達漏れがないよう配慮している。		
<b>14. 会計管理</b>	評価	B 適正
会計システムで管理を行い、記載漏れ、不備が無いよう適切に管理を行っている。		